



明日のための学びの場 (通称:あしたば)

「日本語学習者とメンタルヘルス—今,まさにケアを必要としている方に対して—」

## 開催報告

日時:2020年9月13日(日)14:00~16:30 Zoomによるオンライン開催

参加者:91名(参加者・講師・スタッフ)

チャレンジ支援委員会の事業の一つである「これから系」勉強会は、今年度から名称が変更されました。正式名称を「明日のための学びの場」とし、通称として「あしたば」を使用します。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

その「あしたば」の初めての企画として、9月13日(日)に「日本語学習者とメンタルヘルス」に関する勉強会が開催されました。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響のために、チャレンジ支援委員会初のオンライン開催となりました。

当日は、参加定員80名のところ、会員・非会員合わせて83名の方に参加していただき、講師・スタッフを合わせ91名が参加しました。講師は、四谷ゆいクリニックの院長で精神科医である阿部裕先生です。阿部先生には、スタッフの委員とともに、学会事務局からZoomに接続していただきました。



第1部は、「多文化共生社会におけるメンタルヘルスの基本」について、事前に参加者から受け付けた「講師に聞きたいこと」についても触れながら、お話をいただきました。前半は特に、こころの病の種類や症状の特徴の他に、阿部先生のクリニックにおける外国人の新患者数の推移や出身別症例の特徴について説明がありました。途中休憩をはさみ、後半は具体的な症例についての紹介とともに、精神医療に対する基礎的な知識、新型コロナウイルス感染症と外国人の心の健康に関する基礎的解説や、こころの問題を抱えた外国人への具体的な対応方法と支援者側に必要なことについても説明していただきました。貴重な症例の共有や、具体的な対応方法を提示してくださったことにより、支援方法がイメージしやすかったのではないかと思います。

第2部では約20分の休憩後、参加者からの質問をGoogle formで回収し、講師に回答していただく方式で進めました。阿部先生には約30分間にわたり、一つ一つの質問に丁寧にご回答をいただきました。

勉強会終了後に回収したアンケートでは、74名(回収率89.2%)から回答が寄せられ、全体的に満足度も高く好評でした。自由記述には、「大変タイムリーで有意義だった」「オンラインは気軽に参加できる」「地方から参加しやすい」「質疑応答の時間がもう少しあればよかった」などの意見がみられました。いただいたご感想やご意見は、次回の「あしたば」にぜひ活かしていきたいと考えております。



講師の阿部先生、そして参加してくださったみなさま、ありがとうございました。

(文責:中島)

チャレンジ支援委員会:石澤徹・佐久間みのり・中島祥子・松葉葉子